

東桜コンピテンシー2019 「①ビジョン」について ～その2～

①「ビジョン」

数年～数十年単位の中長期的な目標として、望ましい社会や理想とする自分の姿を思い描く力。

(i) 臨時休校の今こそ「自己管理能力」を発揮しよう

3月2日からの臨時休校が、登校日1日をはさんで、今日で通算15日目になりました。生徒諸君にとっては、部活動で登校する機会もなく、かと言って自由に出歩いていいわけでもない状況の中での長期にわたる臨時休業。正に「自己管理能力」が問われています。

残念ながら、現在の状態は、24日の登校日をはさんで、3月の第4週まで続くことになりました。春休み中の皆さんの活動等の再開の可否については、国の動向等を踏まえ、県教育委員会から3月第4週を目途に通知がくることになっています。

いよいよ長期化することになった県立学校の臨時休業ですが、生徒諸君の中には、「定着が不十分だったところを学び直すことができる、ちょうどいい機会になっている」と前向きに捉えている人がいました。たいへん頼もしく、心強い言葉です。

皆さんには、心身ともに健康な状態をキープしながら、時間管理や学習環境を自分なりに工夫し、この期間を有効に活用してほしいと願います。

(ii) 学ぶことの意義を再確認しよう

私に、学ぶことの幸せをあらためて気づかせてくれたのは、2013年7月12日の国連本部におけるマララ・ユスフザイさんのスピーチです。

「One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.

1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト（教育を第一に）。」

SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の一つに「質の高い教育をみんなに」が掲げられています。

そして、この目標を構成するターゲットの一つに「2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする」があります。

以下に、国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所のHP



の内容を掲載します。

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

すべての子どもに初等教育を普及するという目標の達成に向けて、2000年以降、大きな進捗が見られています。開発途上地域の就学率は2015年に91%に達し、全世界で学校に通えていない子どもの数はほぼ半減しました。識字率も劇的に改善し、学校に通う女の子の数は以前よりもはるかに多くなりました。いずれも特筆すべき成果といえます。

しかしながら、開発途上地域では高い貧困率や武力紛争、その他の緊急事態といった大きな課題に直面しています。西アジアと北アフリカでは、武力紛争の長期化によって、学校に通えない子どもの割合が増えています。これは懸念すべき事態です。サハラ以南アフリカの初等教育就学率は、1990年の52%から2012年には78%へと上昇し、開発途上地域の中で最大の進捗を遂げていますが、それでもなお大きな格差が残っています。最貧層世帯の子どもは、最富裕層世帯の子どもよりも学校に通っていない率が4倍高くなっています。都市部と農村部の間にも、依然として大きな格差が残っています。

すべての人に包摂的で質の高い教育を普及させるという目標は、持続可能な開発にとって、教育が最も有効かつ効果的な手段であるということ再認識するものです。この目標は、2030年までにすべての男女が無償で初等・中等教育を修了することを目指しています。また、職業訓練の平等な機会を提供し、ジェンダーと貧富による格差を解消することで、全世界で質の高い高等教育機会を提供することも、この目標の一つの狙いです。

質の高い教育が施されてこそ課題解決に向かう知恵が生まれることを考えると、課題を抱える国であればあるほど、子どもたちにしっかりとした教育を受ける機会を保障することが大切になるでしょう。（「FACT FULNESS」によると、現在、低所得国に暮らす女子の6割が初等教育を修了するとのことでした。）

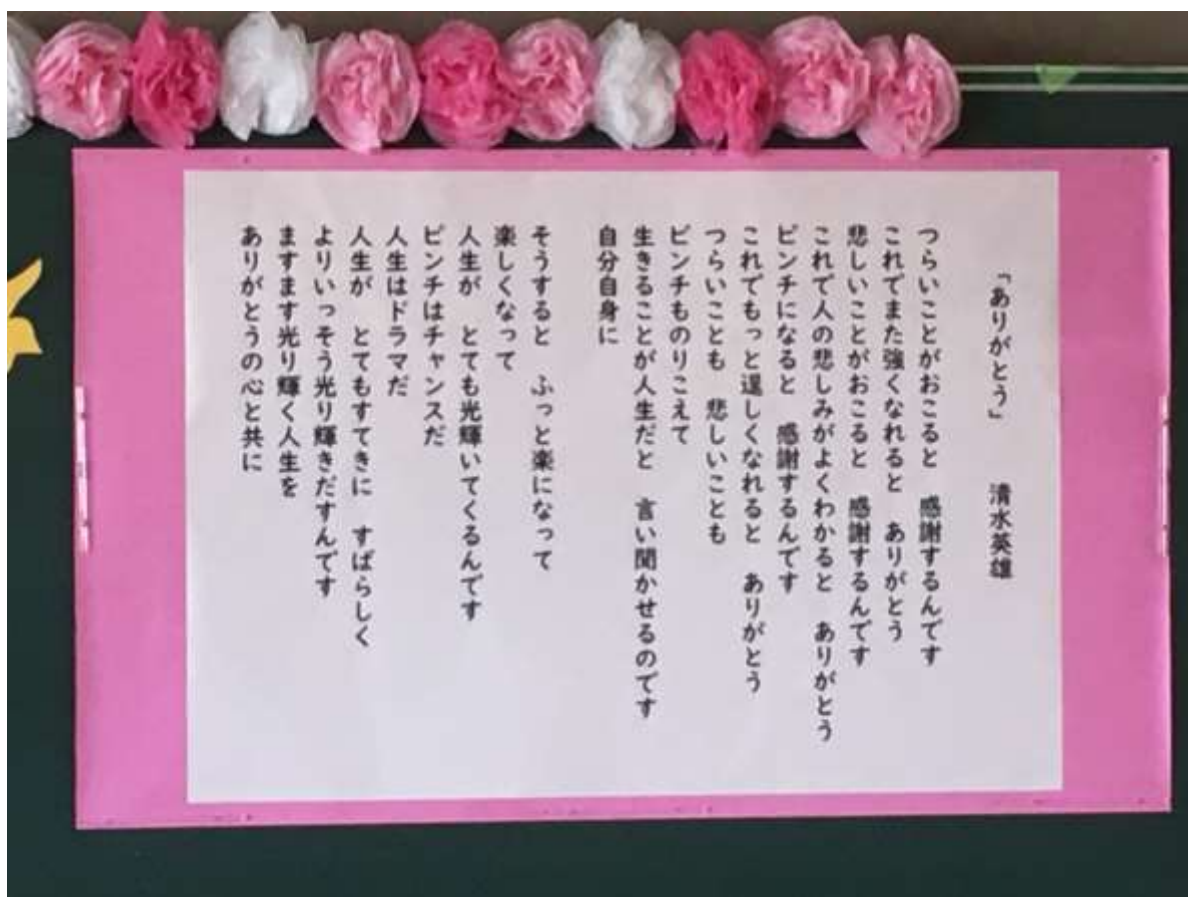
そして、それが「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」といったほかのSDGsの目標達成にも密接に関係しているはずです。このように考えると、学ぶことは、決して自分のためだけではなく、むしろ、周囲の人や社会のためだと考えることができます。

日本では、子どもは、一人の人間としてその尊厳を尊重されるべき存在であり、人格及び能力を最大限に発達させ開花させるために、その学習権が保障されています。

自分の目標や学ぶことの意義をもう一度再確認し、日々の学びを充実させましょう。

最後に、清水英雄さんの「ありがとう」という詩を紹介します。

14日の中学校卒業式では、中学校の先生方が総出で、北アリーナの会場準備や3年生の教室の飾りつけ、掃除などをしてくださいました。その際、卒業生に贈る詩として3年生の教室に掲示していただいた詩です。いい詩だなあと思ったので皆さんに紹介します。



令和2年（2020年）3月